

令和5年1月5日

副校長

令和4年度学校評価の結果について

(1)実施時期

令和4年11月24日（木）～16日（金）

(2)調査対象及び回収率

生徒	358人	回答	353人	回答率	98.6%
保護者	358人	回答	287人	回答率	80.2%（兄弟姉妹は同一データを追加して集計）
教職員	42人	回答	41人	回答率	97.6%（副校長・教諭・実習教諭・講師・養護教諭・養護助教諭・事務長）

(3)調査項目

A:そう思う（強くあてはまる）

B:やや思う（やや当てはまる）

C:あまり思わない（あまり当てはまらない）

D:全く思わない（全く当てはまらない）

NO	質問内容	対象	A	B	C	D	未回答
1	高田高校に入学して（させて）満足している。	生徒	55.8%	38.5%	3.7%	2.0%	0.0%
		保護者	57.9%	37.2%	4.8%	0.0%	0.0%
		教職員	-	-	-	-	-
2	高高生はマナー・モラルがしっかりしている。	生徒	35.7%	53.0%	9.9%	1.4%	0.0%
		保護者	28.3%	66.9%	4.5%	0.3%	0.0%
		教職員	9.8%	75.6%	14.6%	0.0%	0.0%
3	教職員の生徒・保護者への対応は適切である。	生徒	55.8%	39.9%	3.4%	0.8%	0.0%
		保護者	41.7%	51.7%	5.2%	1.4%	0.0%
		教職員	-	-	-	-	-
4	学校は地域との連携を図っている。	生徒	-	-	-	-	-
		保護者	35.5%	56.6%	7.6%	0.3%	0.0%
		教職員	63.4%	36.6%	0.0%	0.0%	0.0%
5	PTA活動は活発に行われている。	生徒	-	-	-	-	-
		保護者	20.0%	56.6%	20.3%	3.1%	0.0%
		教職員	-	-	-	-	-
6	学校からの通知や連絡等を通して、家庭との連携が図られている。	生徒	-	-	-	-	-
		保護者	46.6%	45.9%	7.6%	0.0%	0.0%
		教職員	46.3%	43.9%	9.8%	0.0%	0.0%
7	防災意識を高める指導や訓練を通して、安全教育に努めている。	生徒	68.6%	27.5%	3.1%	0.8%	0.0%
		保護者	-	-	-	-	-
		教職員	46.3%	48.8%	4.9%	0.0%	0.0%
8	わかりやすい授業をはじめ、丁寧な学習指導が行われている。	生徒	54.1%	42.5%	2.3%	1.1%	0.0%
		保護者	31.0%	59.3%	9.7%	0.0%	0.0%
		教職員	-	-	-	-	-
9	学習事項が定着するように、課題や宿題は適切なものになっている。	生徒	57.2%	38.0%	4.0%	0.8%	0.0%
		保護者	29.7%	57.6%	11.7%	1.0%	0.0%
		教職員	22.0%	65.9%	12.2%	0.0%	0.0%
10	家庭学習の習慣が定着している。	生徒	37.1%	43.6%	16.4%	2.8%	0.0%
		保護者	26.2%	43.4%	22.1%	8.3%	0.0%
		教職員	0.0%	24.4%	58.5%	17.1%	0.0%
11	各学期の成績評価は適切なものとなっている。	生徒	66.6%	30.3%	2.3%	0.8%	0.0%
		保護者	48.6%	49.7%	1.4%	0.3%	0.0%
		教職員	31.7%	56.1%	12.2%	0.0%	0.0%
12	生徒は、部活動に積極的に取り組み、有意義に活動している。	生徒	62.8%	32.2%	4.0%	0.9%	0.0%
		保護者	54.8%	33.4%	6.9%	4.8%	0.0%
		教職員	-	-	-	-	-

13	いじめや嫌がらせが無く、生徒は落ち着いた学校生活を送っている。	生徒	63.2%	32.3%	4.0%	0.6%	0.0%
		保護者	50.3%	41.4%	7.2%	1.0%	0.0%
		教職員	7.3%	80.5%	12.2%	0.0%	0.0%
14	生徒の適性や希望に応じたきめ細かい進路指導をしている。	生徒	64.0%	31.4%	3.7%	0.8%	0.0%
		保護者	40.0%	47.6%	11.7%	0.7%	0.0%
		教職員	39.0%	56.1%	4.9%	0.0%	0.0%
15	進路決定のため、生徒や保護者との面談や相談を十分に行っている。	生徒	65.2%	32.6%	1.7%	0.6%	0.0%
		保護者	45.2%	43.1%	10.7%	1.0%	0.0%
		教職員	-	-	-	-	-
16	学校は生徒が必要としている進路情報を十分に提供している。	生徒	66.0%	30.0%	3.1%	0.8%	0.0%
		保護者	37.2%	47.9%	12.8%	2.1%	0.0%
		教職員	36.6%	53.7%	9.8%	0.0%	0.0%
17	学校は生徒や保護者の悩みや相談に適切に対応している。	生徒	61.5%	35.1%	2.3%	1.1%	0.0%
		保護者	38.6%	50.0%	9.7%	1.7%	0.0%
		教職員	-	-	-	-	-
18	校舎内は清掃が行き届き、適切な衛生・清掃活動が行われている。	生徒	68.8%	27.2%	3.7%	0.3%	0.0%
		保護者	61.7%	36.9%	1.4%	0.0%	0.0%
		教職員	31.7%	58.5%	9.8%	0.0%	0.0%
19	図書館は蔵書の充実と整備に力を入れ、利用しやすい環境である。	生徒	77.1%	21.5%	1.1%	0.3%	0.0%
		保護者	-	-	-	-	-
		教職員	70.7%	29.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20	学校は、ホームページを活用し、情報発信の充実を図っている。	生徒	66.0%	30.3%	3.1%	0.6%	0.0%
		保護者	62.8%	33.8%	3.4%	0.0%	0.0%
		教職員	70.7%	29.3%	0.0%	0.0%	0.0%
21	校内の施設・設備は、安全で生活がしやすいように整備されている。	生徒	77.1%	20.7%	1.4%	0.8%	0.0%
		保護者	-	-	-	-	-
		教職員	-	-	-	-	-
22	事務室窓口や電話の対応など、取り次ぎは適切である。	生徒	-	-	-	-	-
		保護者	67.9%	30.0%	2.1%	0.0%	0.0%
		教職員	-	-	-	-	-
23	分掌間の連携が円滑で、組織として有功に機能している。	生徒	-	-	-	-	-
		保護者	-	-	-	-	-
		教職員	12.2%	56.1%	29.3%	2.4%	0.0%
24	職員の業務は適切に分担されている。	生徒	-	-	-	-	-
		保護者	-	-	-	-	-
		教職員	2.4%	48.8%	41.5%	7.3%	0.0%
25	地域水産業の実態を踏まえ、興味・関心が高められる授業・実習がなされている。	生徒	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	260.0%
		保護者	51.7%	44.8%	3.4%	0.0%	0.0%
		教職員	-	-	-	-	-

高高生に身に付いていると思う力

	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	他と協働する力	持続力	主体性	実行力
生徒	90	78	153	114	35	78	172	54	50	106
保護者	38	51	79	47	51	89	138	93	47	67
教職員	1	2	6	9	16	9	32	4	2	6

高高生に身につけさせたい力

	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	他と協働する力	持続力	主体性	実行力
生徒	113	145	80	94	38	86	41	134	118	121
保護者	84	73	72	118	33	53	67	68	64	90
教職員	11	18	4	11	8	4	4	12	30	17

令和4年度学校評価保護者意見について

岩手県立高田高等学校

師走の大変お忙しいところ、令和4年度学校評価にご協力をいただき誠にありがとうございました。

今回、皆様から寄せられたご意見につきましては、下記の反映区分に沿って今後の学校経営に活かしていきたいと思えます。

また、この機会に限らず、学校経営にご意見等がある場合は遠慮なくお寄せください。より良い学校づくりのため真摯に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【反映区分】

- A 要望の趣旨に沿って進めていくもの
- B 実現に努力していくもの
- C 当面は残念ながら実現が難しいもの
- D 残念ながら極めて実現が難しいもの
- E その他
- F 感謝・御礼

＜寄せられた意見と回答＞

※注 寄せられた意見について、文章表現上、個人が特定されるような箇所等については、一部表現を変えております。

- ・ 部活動のスケジュールをできる限り徹底して欲しい。活動時間や休みの日の変動だと、校外の活動に参加する機会や病院受診のタイミングを失っている様な感じです。

・ 反映区分：A 要望の趣旨に沿って進めていくもの

部活動については、大会日程を押さえた上で、年間計画、月間計画等を立てながら各部で運営をしております。部活動スケジュールや終了時間の変更等は、前もって保護者の皆様に連絡できるよう改善して参ります。

岩手県全体の取り組みとして、年間平均で週当たり2日以上の休養日の設定に努めることとなっておりますので、生徒がバランスのとれた生活を送ることができるよう、休養日の在り方について検討を進めて参ります。

- ・ 部活の顧問が経験者ではない人の配置が続いている。外部コーチに頼りすぎている。
- ・ 部費の割り当てに不満がある。

・ 反映区分：B 実現に努力していくもの

全ての部に専門家の顧問をつけることは、難しいことですが、本校の人的資源を最大限に生かせるような配置を目指していきます。部費については、ある範囲で配分することしかできませんが、最適な配分を目指していきます。

- ・車道２列で自転車下校している生徒をみかけた。
- ・自転車通学の生徒に、反射材や腕や足に巻き付けるタイプのライト等、車両や他者に存在感を示せるものを活用して欲しい。

・反映区分：A 要望の趣旨に沿って進めていくもの

交通ルールについては、遵守するよう日頃より指導しているところです。繰り返し指導していきます。

・反映区分：B 実現に努力していくもの

反射材等の使用を推奨することは可能なので、機会をみて進めていければと思います。

- ・進学できる学力が身に付くクラスを設け指導を徹底して欲しい。
- ・授業で学んだことを定着させるため課題をだして復習させるなど、学習力の向上を図る手立てを講じて欲しい。

・反映区分：A 要望の趣旨に沿って進めていくもの

進学クラスについては、来年度より文系は２年次に進学クラスと就職・専門学校のカラスに分かれますので、より進学を意識したカラスが編成されます。

学習については、学校生活におけるメインの内容ですから、指導内容、方法について日々工夫を重ねていきます。

- ・進路や部活の悩みなど、担任の先生をはじめ、３年生の先生方、養護の先生には、話を聞いていただいたり、声をかけていただいたり、娘はいつも感謝していました。見捨てず見守ってくださりありがとうございました。
- ・子供から、先生方が子供たちからの話や相談を親身に聞いてくださり、ご指導して頂き、学校生活が楽しいと聞いています。とても感謝しております。
- ・教育面、勉強、部活動等 熱心に指導して頂いていること 有り難く思います。（同様意見多数）
- ・先生の評価がわかる。

・反映区分：F 感謝・御礼

本校に在籍する生徒全員の健全な学校生活、進路希望の実現に向けて、生徒や保護者の皆様との面談や相談を丁寧に行って参ります。保護者の皆様と学校が連携し、生徒の未来に幸多きことを願い、本校に入学させて良かったと保護者の皆様に思っていたような教育活動に、今後も邁進して参ります。

A 要望の趣旨に沿って進めていくもの

教員の指導に関して、保護者や地域の方よりご指摘を受けることもありますので、職員のコンプライアンス意識の向上を常に念頭において、改善して参ります。

- ・修学旅行の情報が少なく準備するのに困りました。

・反映区分：A 要望の趣旨に沿って進めていくもの

修学旅行の準備に際して、連絡が不十分で申し訳ございませんでした。秋以降におけるコロナ急拡大の中で、一部日程が変更となり、それらの調整等で、ご家庭への連絡が遅くなりました。コロナ禍での修学旅行は今後も続く可能性がありますので、次年度以降、速やかな情報提供に努めて参ります。

- ・保護者アンケートの内容に対する回答が難しい。

・反映区分：E その他

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございます。このことは保護者の皆様が学校の様子を直接見ていないので答えにくいということだと思います。あくまで生徒を介して、もしくは保護者の方が知り得る範囲での回答ということですので、ご理解頂ければと思います。

- ・お店のパンに負けないおいしいパンでした。（意見多数）
- ・サバの缶詰は本当に美味しいです。（意見多数）
- ・小学生対象の体験会など、評判も良いようですので、今後も継続して欲しいです。
- ・小笠原の実習はなかなか体験することができないことをさせていただいて感謝しております。
- ・漁業だけでなく、食品関係の授業や、研究、体験学習など幅広くあって、良かったなと思う。

・反映区分：F 感謝・御礼

手作りパンやサバの缶詰の販売についても好評を頂いております。サバの缶詰については沿岸地域のコンビニエンスストアに置いて頂くなど、活動をさらに発展させることができました。

水産加工品製造体験教室は、小学生の職業体験の一環で始まったもので、市教育委員会を通じて、希望のあった小学校を対象に開催しているものです。

- ・もっと海に関わる仕事を選ぶ子が増えるといいなと思う。
- ・寮を完備して学区外からの受け入れ、地元企業や海洋大学との連携。
- ・地域漁業者や行政との交流。
- ・高田高校の海洋システム科でしか取得できないような資格、実習など。
- ・SDGsに関する研修や授業を取り入れてはいかがでしょう。
- ・自然に携わる仕事はカッコいいということを発信する。

・反映区分：B 実現に努力していくもの

頂戴したご意見を参考にしながら、地域とともにある学校として、地域の産業振興にも貢献できるように教育活動を推進して参ります。

令和5年度入学生より、海洋システム科では「コース制」を廃止して、水産業の6次産業化に対応できるよう、学科に在籍する全生徒が、幅広く科目を履修できるように再編するほか、水産の専門科目に加えて、新たに商業の専門科目も導入することで、1次産業から3次産業に至る、専門的な知識及び技能を総合的かつ体系的に履修できる教育課程に再編いたします。今後も魅力ある海洋システム科を目指していきます。